



佐野和彦 議員
(富岳会)

市民の皆様からいただいた質問

佐野 富士宮駅伝競走大会の順位づけは、富士宮市陸上競技協会の方たちが目視で確認しているが、センサーなどを利用した機械を導入できないか。

教育部長 平成31年の第70回記念大会に機械を導入できるように、具体的に検討している。

佐野 子どもの評判が良くない給食の味を、どう改善していくか。

教育部長 毎日、学校との連絡ノートを使用して意見をもらい、東洋食品と連携し、改善に努めている。また、宮つ子朝食オリジナルコンクールで入賞したメニューも取り入れ、味の改善に取り組む。

佐野 小中学校静岡茶愛飲事業費補助金が補正予算でつき、粉末茶を使用することになった。しかし、粉末ではお茶本来の飲み方が覚えられないと思うがいかがか。

教育長 急須で入れたお茶を楽しむことはとても大切なことだが、これまでやっていなかったため、現在、小・中学校に急須と茶器の

セットを配布した。30年度以降、お茶に関する食育を検討していく。

佐野 篠坂地先にある県のカルチャーパーク構想の跡地の行方は。

企画部長 一時、富士山世界遺産センター建設の候補地となった。その後、環境負荷を軽減させるための駐車場の整備を検討し、環境省に打診もしたが、国立公園の指定地外で国の支援は難しいとのこと。市単独の整備は財政的に厳しいため、今後も研究を続けていく。

佐野 市のイベント開催の日程は、どのように決めているのか。

企画部長 イベントを所管する部署が総合的に判断して決める。情報発信課では、日程調査を行い、全庁で共有できるようにしている。



▲県のカルチャーパーク構想があった富士山さくらの園周辺の行方は



村瀬旬 議員
(政経会)

富士山世界遺産センターのオープンに伴う河川ごみ問題と周辺整備について

村瀬 美化ボランティア団体といま一層協働し、河川美化を図るべきではないか。

都市整備部長 平成26年から河川愛護の意識向上を図ることを目的に「世界遺産にふさわしい川づくり協議会」が結成され、現在45団体が加入している。リバーフレンドシップ制度へ加入する団体の促進を図り、今以上に市と協働して美化活動に努める。大雨の後に大量のごみが市内河川から流れ込むため、清掃は大雨後と少なくとも月に一回は行っていきたい。

村瀬 日本一の小水力発電のまちをアピールするのであれば、神田川へ小水力発電の水車を設置したらいかがか。

環境部長 小水力発電日本一のまちであることをPRでき、市のイメージアップにつながると考える。しかし、許可が必要なことと設置費用、設置後の運転・保守に

係る維持費が必要のため、現時点では小水力発電の設置は考えていない。しかし、将来において、日本一の小水力発電のまちとして、どのような水車が神田川にふさわしいかなどを協議検討していく。

村瀬 花の植栽は考えているか。

環境部長 世界遺産センターのオープンに向け、せせらぎ広場を中心に、花いっぱい空間を創出して、多くの来訪者を迎えたい。せせらぎ広場東側の歩行者専用道路にはプランター花壇200基、神田川広場にもプランター花壇60基、商店街にはフラワーバスケット550基を設置する。



▲いつまでもごみのない美しい川でありつづけたい